

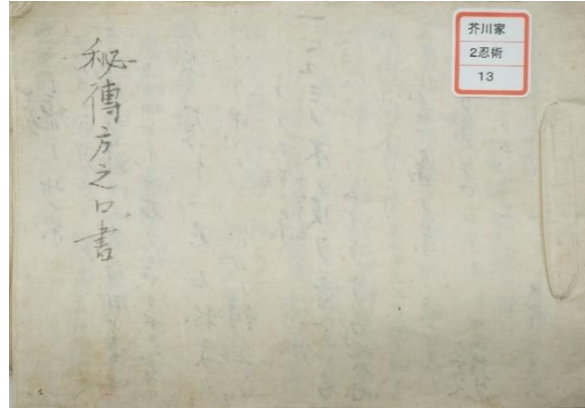
おもシロ！城郭つうしん 第1回

芥川家文書<忍者の保存食レシピ>

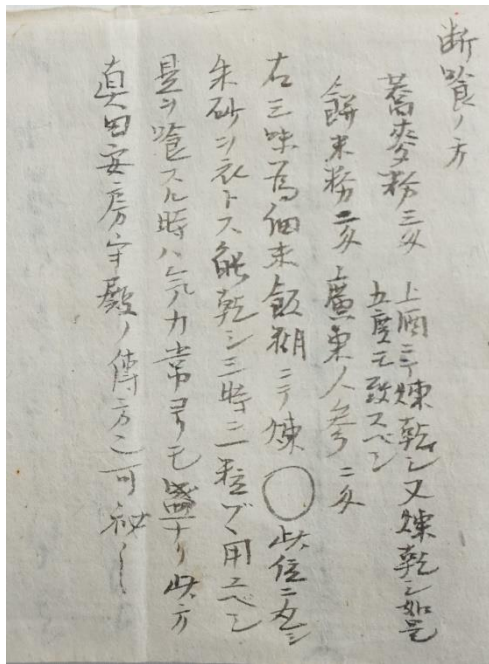
松本城の古文書紹介

松本城にはいろいろな家から寄贈された多くの古文書が収蔵されています。

【^{あくたがわけ}芥川家文書】「芥川家文書」は芥川家から寄贈された文書です。芥川家は松本藩主である戸田松平家に仕えた忍者の家系ですが、特に注目されるのが忍術についての秘伝です。この文書は「^{ひでんほう}秘伝方^{くちがき}の口書」と書かれており、本来は「^{くでん}口伝」とされている忍術の秘密が記載されて



います。 その中でも「^{だんじきのほう}断喰之方」という秘伝の丸薬の作り方は特筆すべき内容です。



断食の方（現代語訳）
蕎麦粉三匁 上酒を使って練って乾かし、練って乾かし
このように五度もくりかえすこと
餅粉米粉二匁、広東人参二匁
右の三味を細末として、飯糊で練り○このくらいに丸くし
朱砂を衣にしてよく乾かし、三時に一粒ずつ用いること、
これを食する時は、気力がいつもより盛んになる、この方法
は真田安房守殿の伝法である、秘密にすること。

文中の朱砂（しゅしゃ）とは水銀朱のことです。忍者の仕事には十分に食事がとれない場合があったのでしょう。この丸薬を三時つまり6時間に一粒食べれば気力十分となるとしています。

忍者の活動で有名な上田の真田昌幸からの秘伝であることなどが書かれていますが、書かれた年代はわかりませんが、芥川家が戸田家に仕えたのは寛文12年（1672）です。それ以後のものでしょう。